

# 新潟市

## 交通事故概況

### 安心・安全な新潟市を目指して

～歩行者被害の交通死亡事故が多発～

新潟市内では、令和3年中の交通事故件数は前年と比べて減少しましたが、10人の方が亡くなり、そのうち半数(5名)の方が歩行中に被害に遭いました。

交通事故を防ぐ  
ワンポイント!!

#### ドライバーのみなさん

横断歩道は歩行者が優先です。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたら必ず停まりましょう。  
交差点では速度を落とし、安全確認を徹底しましょう。

#### 歩行者・自転車のみなさん

交通ルールを守り、交通事故に遭わないようにしましょう。  
歩行者のみなさんは道路横断の際は「手を上げる、身体を向ける」等により横断する意思を明確に示すことで、交通事故を防ぐことができます。

みんなで、悲惨な交通事故を無くし、  
安心・安全な新潟市を実現しましょう。



**新潟市** 市民生活部 市民生活課 安心・安全推進室  
TEL 025-226-1113

各区交通  
安全担当課

北 区 区民生活課(025-387-1295) 秋葉区 地域総務課(0250-25-5470)  
東 区 総 務 課(025-250-2720) 南 区 地域総務課(025-372-6431)  
中央区 総 務 課(025-223-7064) 西 区 総 務 課(025-264-7120)  
江南区 区民生活課(025-382-4254) 西蒲区 地域総務課(0256-72-8143)

## 6 歩行者の交通事故

全交通事故の発生件数が減少傾向にある中で、歩行者の交通事故件数、割合は横ばいです。  
歩行者は交通事故の衝撃を直接受けてしまうので、事故に遭うと重傷化しやすいのが特徴です。

- ★歩行者は道路横断の際、「手を上げる」「体を向ける」「会釈をする」等の方法で横断する意思をドライバーに明確に示しましょう。これを「渡るよサイン」といいます。
- ★歩行者側の「信号無視」や「飛び出し」といった交通違反が交通事故の原因になっている場合もあります。
- ★夜間外出する際は、明るい服装を心掛け、反射材や携帯式のライトを活用しましょう。

[ 歩行者事故発生状況 ]

(単位: 件、人)

	H29	H30	R1	R2	R3
全事故件数	1,798	1,651	1,485	1,320	1,221
発生件数	296	247	232	250	224
死者数	9	14	4	6	5
全事故に占める歩行者事故の割合	16.5%	15.0%	15.6%	18.9%	18.3%

※令和3年中に発生した歩行者事故のうち、3件は歩行者側に交通違反が認められました。



「渡るよサイン」の紹介動画はコチラ▶



## 7 自転車の交通事故

自転車の交通事故発生件数は、全体としては減少傾向にありますが、全事故に占める自転車事故の割合は横ばいです。健康志向・環境志向の高まりや新型コロナウイルス感染症の影響で、自転車利用者が増えてきている中、自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーの向上が求められています。自転車乗用者が加害者になる事例が全国各地で相次いでおり、高額な賠償が発生することもあります。

- ★自転車は車両の仲間です。交通ルールを守りましょう。
- ★万が一に備えてヘルメットの着用、損害保険への加入及び点検・整備をしましょう。

[ 自転車事故発生状況 ]

(単位: 件、人)

	H29	H30	R1	R2	R3
全事故件数	1,798	1,651	1,485	1,320	1,221
発生件数	275	259	234	228	186
死者数	1	6	1	0	1
全事故に占める歩行者事故の割合	15.3%	15.7%	15.8%	17.3%	15.2%
対歩行者事故件数	7	6	2	4	2



自転車保険に関するフローチャートはコチラ▶



## 8 飲酒運転の根絶

新潟市では、交通事故全体の発生件数等は減少傾向にあります。しかし、未だ多くの方が交通事故の被害に遭い、飲酒運転等悪質違反も発生しています。

[ 飲酒事故発生状況 ]

(単位: 件、人)

	H29	H30	R1	R2	R3
全事故件数	1,798	1,651	1,485	1,320	1,221
発生件数	26	22	18	13	12
死者数	0	1	0	1	2
全事故に占める飲酒事故の割合	1.4%	1.3%	1.2%	1.0%	1.0%

※僅かなアルコール量でも飲酒運転(酒酔い・酒気帯び運転)になり、厳重に処罰されることがあります。



### ～安心・安全な新潟市を目指して～

悲惨な交通事故を1件でも減らすためには、みんなで交通安全意識を高めることが大切です。

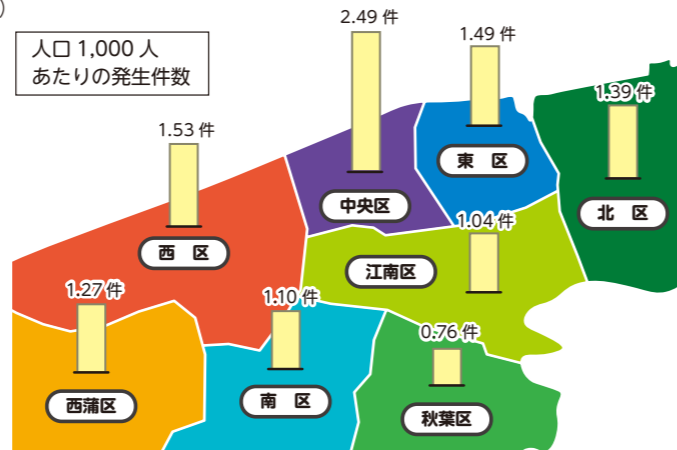
家庭や学校、職場から地域へ、交通安全の輪を広げ誰もが安心して生活できる新潟市を実現しましょう。

# 1 新潟市の交通事故発生状況

新潟市では、令和3年中に1,221件の交通事故が発生し、1,366人が負傷、10人の尊い命が失われました。

[ 市内の交通事故発生状況(令和3年) ] (単位: 件、人)

区別	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
北区	101	3	119	20
東区	201	3	218	19
中央区	434	1	481	57
江南区	71	0	80	8
秋葉区	58	3	67	21
南区	48	0	54	8
西区	238	0	258	36
西蒲区	70	0	89	7
全市	1,221	10	1,366	176



## 交通事故発生状況の推移

新潟市内の交通事故件数と負傷者数は16年連続で減少し、いずれも平成29年からの5年間で、3割以上も減少しています。しかし、一歩間違えば死亡事故になっていた重傷事故も多く発生しており、負傷者数に占める重傷者数の割合は横ばいです。

[ 過去5年間の交通事故発生状況 ] (単位: 件、人)

	H29	H30	R1	R2	R3	増減率
発生件数	1,798	1,651	1,485	1,320	1,221	-7.5%
死者数	13	27	11	11	10	-9.1%
負傷者数	2,102	1,949	1,760	1,515	1,366	-9.8%
重傷者数	305	261	253	241	176	-27.0%
負傷者数に占める重傷者数の割合	14.5%	13.4%	14.4%	15.9%	12.9%	

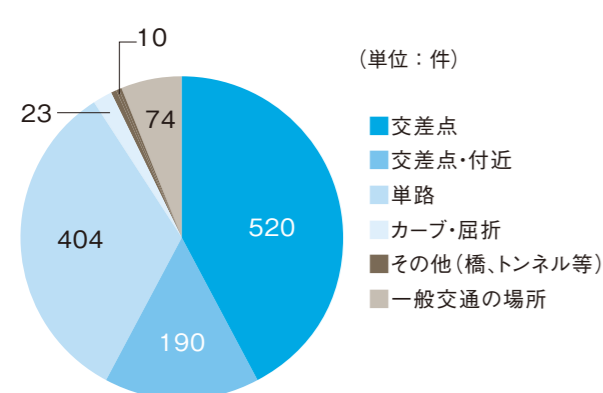
※重傷者とは、交通事故で1ヶ月(30日)以上の治療を要する傷害を負った者をいう。

# 2 交通事故の発生場所と時間帯

交通事故の発生場所は、交差点やその付近が全体の約58%を占め、その半数が出会い頭事故です。交差点以外での事故はわき見運転等が原因の追突事故が目立ちます。また、時間帯別では交通量の多い8時から12時、16時から20時の間に多く発生しています。

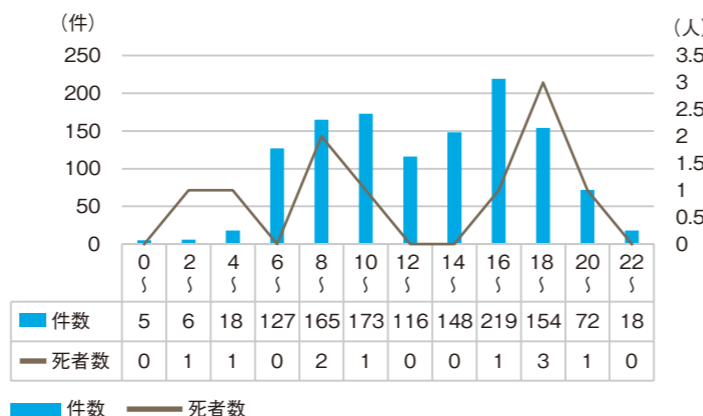
★朝の通勤、通学時間帯や、夕方の帰宅時間帯は交通事故が多発する傾向にあります。

## 場所別発生状況



※「一般交通の場所」とは駐車場等の道路外の場所をいいます。

## 時間帯別発生状況

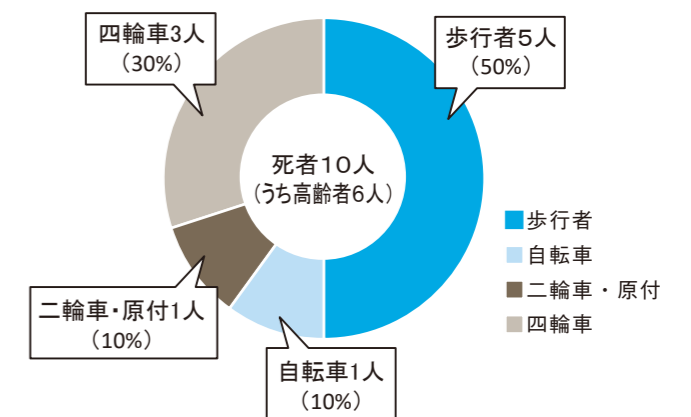


# 3 死亡事故

亡くなった10人のうち6人が、65歳以上の高齢者でした。状態別では、歩行中・自転車乗車中に被害に遭われた方が半数を超え、全体の60%と高い割合を占めます。また、四輪車・二輪車乗車中の4人のうち、2人が自損事故でした。対歩行者・自転車事故の原因の多くはドライバーのわき見運転や考え事等の漫然運転です。

- ★ドライバーのみなさんは、ハンドルを握ったら運転に集中し、ゆとりを持った運転を心掛けましょう。
- ★横断歩道は歩行者が優先です。歩行者や自転車を発見したら必ず停まりましょう。

## 状態別死亡事故発生状況



# 4 高齢者の交通事故

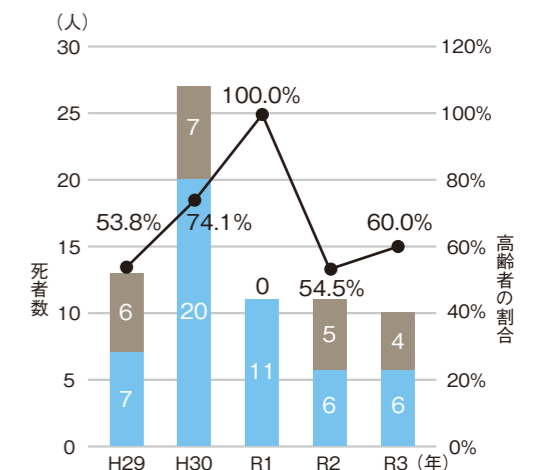
高齢者事故件数は減少傾向ですが、全事故に占める割合は増加傾向にあります。高齢運転者事故についても、発生件数は減少しましたが、全事故に占める割合は増加傾向にあります。

- ★運転に不安を感じたら自らの運転技術を見つめ直し、無理な運転は避けましょう。
- ★「慣れた道を通る 交通量の多い時間帯は避ける 明るい時間帯に運転する」といった補償運転をしましょう。

[ 高齢者事故の発生状況 ]

	H29	H30	R1	R2	R3
全事故件数	1,798	1,651	1,485	1,320	1,221
高齢者事故	670	639	587	563	457
全事故に占める割合	37.3%	38.7%	39.5%	42.7%	37.4%
高齢運転者事故	393	385	369	334	308
全事故に占める割合	21.9%	23.3%	24.8%	25.3%	25.2%

## 交通事故死者に占める高齢者の割合



# 5 子どもを交通事故から守ろう

令和3年中、子ども(中学生まで)の交通事故は63件発生し、66人が負傷しています。幼児は、車両同乗中(自転車の同乗含む)の事故が約7割を占めます。小学生、中学生になると、歩行中や自転車乗用中の事故が増えます。これは行動範囲が広がり、事故に遭う可能性が高くなるためです。

- ★「道路で遊ばない、道路に飛び出さない、交差点では必ず止まって安全確認をする」といった基本的な交通ルールを守りましょう。
- ★子ども達は大人を見ています。かけがえない子どもの命を守るため、大人が正しい交通ルールを守り、見本となって教えてあげることが大切です。



## 年代別・状態別死傷者数

